

平成 30 年 7 月 12 日

被災地域の妊婦さんと小さなお子様（乳児）のための 「健康なんでも相談所」を開設しました

このたびの豪雨災害に際し、心よりお見舞い申し上げます。

広島大学では、皆様が少しでも健やか穏やかに過ごすことができますよう、被災地域にお住まいの妊婦さんや乳児を育てておられる方を対象とした「健康なんでも相談所」を以下のとおり開設しました。相談には、助産師・保健師・看護師が対応します。なお、電話や E-mail での相談も可能です。

記

【対象者】 被災地域にお住まいの妊婦さん、産後の方、小さなお子様（乳児）
被災された方でなくても利用できます。

【開設日程】 2018 年 7 月 12 日（木）～ 状況に応じて

【開設時間】 9：30～17：00（土日祝も開設）

【サービス内容】 無料。健康にかかわるなんでも相談、冷房完備の休憩所、遊びスペース、お湯の準備、冷蔵庫はあります。ベッドはありません。粉ミルクやお菓子類はご持参ください。申し込み不要ですが、あらかじめご連絡いただける場合はメール、電話にてご連絡ください。

【場所】 広島大学霞キャンパス 保健学研究棟

助産・母性看護開発学研究室 305/504 号室

土日祝日は保健学研究棟玄関から、082-257-5362にご連絡ください。（広島市南区霞1丁目2-3）

- 協 賛 一般社団法人広島県助産師会
広島県保育団体連絡会
- 後 援 広島大学医歯薬保健学研究科附属先駆的看護実践支援センター

【お問い合わせ先】

広島大学大学院医歯薬保健学研究科 助産・母性看護開発学研究室

大平光子（教授）・村上真理（助教）

E-mail maternal@hiroshima-u.ac.jp

TEL/FAX 082-257-5352、082-257-5362

※7/13までは出張で不在のため、その間の問い合わせは、こちらの携帯番号にご連絡ください。090-1119-4262（大平携帯）

発信枚数：A4版 3枚（本票含む）

被災地域の妊婦さんと小さなお子様（乳児）のための 「健康なんでも相談所」を開設しました

このたびの豪雨災害に際し、心よりお見舞い申し上げます。
皆様が少しでも健やか穏やかに過ごすことができますよう
被災地域にお住まいの妊婦さんや乳児を育てておられる方を対象とした
「健康なんでも相談所」です。どうぞお気軽にごゆっくりご利用ください。

- ご利用いただける方
被災地域にお住まいの妊婦さん、産後の方、小さなお子様（乳児）
被災された方でなくてもご利用いただけます。
ごきょうだい、ご家族が一緒される場合は、ご連絡ください。
- 開設日程 2018年7月12日（木）～状況に応じて
- 開設時間 9：30～17：00（土日祝も開設）
- 相談には助産師・保健師・看護師が対応させていただきます。
- サービス内容（無料） 健康にかかわるなんでも相談、冷房完備の休憩所、遊びスペース
お湯の準備、冷蔵庫はあります。ベッドはありません。
粉ミルクやお菓子類はご持参ください。
申し込み不要ですが、あらかじめご連絡いただける場合は
メール、電話にてご連絡ください。
- 場所
広島大学霞キャンパス 保健学研究棟 助産・母性看護開発学研究室 305/504号室
土日祝日は保健学研究棟玄関から、082-257-5362にご連絡ください。
(広島市南区霞1丁目2-3)
アクセス
 - ・JR 広島駅から 大学病院行（広電バス5号線、20分、230円、大学病院前下車）
段原・旭町行（広島バス26-1号、20分、220円、大学病院入口下車）
 - ・JR 横川駅から 大学病院行（広島バス23・23-1号、45分、230円、大学病院前下車）
 - ・広島バスセンターから 徒歩約3分、紙屋町県庁前バス停大学病院行（広島バス（23号線・23-1号、20分、220円、大学病院前下車）
- 連絡先 広島大学大学院医歯薬保健学研究科 助産・母性看護開発学研究室
大平光子（教授）・村上真理（助教）
E-mail maternal@hiroshima-u.ac.jp
TEL/FAX 082-257-5352、082-257-5362
- 協賛 一般社団法人広島県助産師会
広島県保育団体連絡会
後援 広島大学医歯薬保健学研究科附属先駆的看護実践支援センター



広島大学



広島県保育団体連絡会

キャンパスマップ

霞キャンパスの北西に位置する保健学研究棟の305号室にお越しください。
土日祝日は保健学研究棟玄関から、082-257-5362にご連絡ください。

広島駅 南側
広島駅前バス停 5号線
段原中央・段原南・大学病院

広島大学病院前バス停から
保健学研究棟 3階 305室へおこしください

